

学期	月	時数	単元名 項目名	学習目標 学習内容	評価の観点			評価規準 評価方法	
					知	思	態		
1 学期	4月	2	【歴史のとらえ方と調べ方】 ・歴史の流れと時代区分 ・歴史の調べ方/ まとめ方/発表の 仕方	・中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表にまとめたりするなどの技能を身につけさせる。 ・小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関わりなどについて考察し、適切に表現させる。 ・身近な地域のなかで、受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で地域の歴史を調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身につけさせる。		○	○	○	【知】年代の表し方や時代区分の意味や意義など基本的な内容を理解している。 【知】資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身につけている。 【思】時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 【態】私たちと歴史について、よりよい社会の実現を視野にそいで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。 〔学習プリント・小テスト・定期考査〕
	5月	2	【古代】 ・人類の登場から 文明の発生へ	・古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。 ・ギリシャ・ローマ文明の政治制度について、現代につながる面と現代の民主主義とは異なる面の両面を踏まえて理解させる。	○	○	○	○	【知】世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 【知】日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、ヤマト王権による統一の様子と東アジアとの関わりなどをとらえ、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解している。 【知】律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などをとらえ、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 【知】仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などをもとに、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 【理】古代文明や宗教がおこった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治、文化の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 【理】古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野に「国づくりが行われていった古代の社会には、どのような特色があったのだろうか」という「章の問い」を主体的に追究しようとしている。 〔定期考査、授業プリント、製作物など〕
	6月	4	・東アジアのなか の倭（日本）	・日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などに基づく信仰が後の時代にもつながっていることを理解できる。 ・ヤマト王権の勢力の広がりについて、古墳の大きさやその分布からとらえるとともに、東アジアとの関わりについては、大陸から移住してきた人々が日本の社会や文化に果たした役割に気づくことができる。	○	○	○	○	【知】日本列島における農耕の始まりと人々の生活の変化、ヤマト王権の勢力の拡大などをもとに、倭（日本）は東アジアの文明の影響を受けながら国家を形成していったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 【理】農耕の広まりや生産技術の発展に渡来人が果たした役割に着目し、人々の生活や社会に与えた影響を、事象を相互に関連づけるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】日本列島における国家形成について、「章の問い」と関連づけながら「日本列島ではどのようにクニができ、勢力を拡大したのだろうか」という「節の問い」を主体的に追究しようとしている。 〔定期考査、授業プリント、製作物など〕
	7月	1	・中国になら った国家づくり	・聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解できる。 ・大陸からもたらされた仏教が、日本の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づき、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解できる。	○	○	○	○	【知】律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 【知】仏教の伝来とその影響などをもとに、国際的な要素をもった文化が栄えたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 【理】東アジアとの接触や交流に伴う日本の政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を、事象を相互に関連づけるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】律令国家の形成や古代の文化と東アジアとの関わりについて、「章の問い」と関連づけながら「なぜ、日本の古代国家は、中国にならった国づくりを行ったのだろうか」という「節の問い」を主体的に追究しようとしている。 〔定期考査、授業プリント、製作物など〕
2 学期	9月	6							
	10月	4	・展開する天 皇・貴族の政治	・摂関政治のもとでの平安京における貴族の政治の特色を理解できる。 ・東アジアの情勢の変化によって、日本でも政治と文化において独自の動きがみられるようになったことを理解できる。 ・日本独自のかな文字が発明され、それを使った文学作品が書かれたことなどに気づき、文化の国風化が進んだことを理解できる。	○	○	○	○	【知】摂関政治のもと、平安時代は、藤原氏の皇室との姻戚関係や広大な荘園の所有を背景に政治の実権が天皇から貴族に移行していったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 【知】かな文字の成立などをもとに、文化の国風化が進んだことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べ、まとめている。 【理】平安京への遷都や密教の興隆、国風文化の形成に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を、事象を相互に関連づけるなどして、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主】律令国家の形成や古代の文化と東アジアとの関わりについて、「章の問い」と関連づけながら「中国の影響を受けた日本の政治と文化は、どのように変化していったのだろうか」という「節の問い」を主体的に追究しようとしている。 〔定期考査、授業プリント、製作物など〕
	11月	1							

